



**今年は！平成最後の年末ということで！！**

**2018年を振り返る世相キャッチャーではなく、30年間を振り返り**

**懐かしい商品や当時の流行品などを集めたクレーンゲーム**

# **【平成こんなのあったよねキャッチャー】**

**4週連続登場の第1弾は『バトル鉛筆』が景品で登場しました!!**

株式会社東洋(本社:埼玉県北本市/代表取締役社長 中村秀夫 以下、当社)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数がギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンター エブリディ行田店(埼玉県行田市)」は、2018年12月6日に、**【平成こんなのあったよねキャッチャー】第1弾を登場させました。**

## **平成こんなのあったよねキャッチャー って何？**

当社では、年末になると、クレーンゲームでその年1年を振り返る**【世相キャッチャー】**というのを展開してきました。今年は、**平成最後の年末**ということで、今年1年ではなく、**『平成という時代、30年を振り返ってみよう』**ということで、この30年間に流行った物などで、**懐かしいと思ってもらえる物**や、**30歳未満の方には、こんな物が流行ったんだと**平成の歴史を感じてもらえるような物を景品に採用したクレーンゲームを考えました。それが**【平成こんなのあったよねキャッチャー】**です。

平成こんなのあったよねキャッチャーは、**全4弾のクレーンゲーム**として、2018年12月、**4週連続で登場予定**です。

**第1弾は、筆記用具なのに、持つて行くのが禁止**  
になる学校も現れる程の人気で、社会現象にも  
なった、転がして対戦して遊べる鉛筆(通称:バトル  
鉛筆)が景品となっております。

この台の企画・製作者(30代男性)によると、『小学生の時にドラゴンクエストのバトル鉛筆が流行って、学校で友達とバトルをした記憶があります。本当は、当時のドラゴンクエストのバトル鉛筆を景品に採用したかったが、今は製造されてないのか、景品の数が確保が出来なかったので、バトル要素のある他の鉛筆を探しました。当時バトルをやったことのある世代の方が、今は父親・母親世代になっていると思うので、お子さんと懐かしみながら楽しんでもらったり、当時の流行を知らない今のお子さん達にも楽しんでもらえたら嬉しいです。』とのこと。



↑バトル鉛筆は、3本入り1セットを2タイプ用意